



本市は国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指しています。

セーフコミュニティいずみおおつ

第
6
回

セーフコミュニティが 動き始めました！

6つの分野別対策委員会がいよいよスタート



多くの皆さんが参加し、分野別対策委員会合同会議を開催

11月18日に、本市セーフコミュニティで取り組む6つの分野、「交通安全」、「子どもの安全」、「高齢者の安全」、「自殺予防」、「犯罪防止」、「災害安全」の対策委員会の初顔合わせとなる「第1回泉大津市セーフコミュニティ分野別対策委員会合同会議」が開催されました。

福祉や教育、自治関係などの地域で活動している団体や医療・行政機関など幅広い分野から、当日は80人を超える多くの委員や各対策委員会事務局など



合同会議の様子



JISC 白石代表理事による講演の様子

講演

「対策委員会は何をするのか」

また、本市の活動にご支援をいただいている日本セーフコミュニティ推進機構（JISC）

の皆さんに出席いただき、活気ある初会議となりました。

会議では、6月に行った活動開始宣言からの動きや地域診断の概況など本市セーフコミュニティの取り組み、設置までのプロセスや今後のスケジュールなど活動を開始する分野別対策委員会、先に決定したイメージソングについて説明しました。

の白石陽子代表理事より、先進自治体の事例も交え、「対策委員会は何をするのか」など、その役割を中心にセーフコミュニティ活動について講演いただき、今後の活動に生かすべく理解を深めました。

今後、各対策委員会としての重点課題を考えていきます

次に、対策委員会ごとに分かれて、各委員が顔を合わせ、和やかな雰囲気の中、自己紹介も行われました。

当面は、それぞれの分野で各自の取り組みや課題、本市における現状を把握することを目的に、経験からの主観的な課題や統計データからの客観的な課題、これまでに行われている安全・安心に関する取り組みについて、ワークショップを通じて共有し、各対策委員会としての重点課題を考えていきます。

対策委員会がスタートしたことにより、推進母体である推進協議会をはじめとする本市のすべてのセーフコミュニティ組織が動き始めました。

問合 危機管理課（市役所4階）

意識の高い皆さんの泉大津らしい取組に期待です

セーフコミュニティは、横文字（英語）なので、私たちの生活からは遠いように思われがちですが、実は市民一人ひとりが主体の生活に密着した取り組みです。今ある取り組みを効果的・効率的に活用し、より安全なまちづくりを進めるためには、まずは地域診断から始めます。泉大津市は、さまざまな取り組みが展開されていますし、市民の代表となる対策委員会の皆さんもまちづくりに高い関心をお持ちです。これからの泉大津市らしい取り組みが楽しみです。

JISC 代表理事
白石陽子氏のコメント

